

全国月間火山概況（平成 23 年 9 月）

霧島山（新燃岳）では、8 月 31 日（期間外）に発生した小規模な噴火は 6 日まで継続しました。また、7 日にごく小規模な噴火が発生しました。新燃岳の北西地下深くのマグマだまりには深部からのマグマの供給が続いており、マグマだまりから新燃岳へ多量のマグマが上昇すれば、噴火活動が再び活発化する可能性があります。新燃岳火口から概ね 3 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続しています。

桜島では、昭和火口で爆発的噴火を含む活発な噴火活動が継続しました。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続しています。

三宅島では、やや多量の火山ガスの放出が続いています。火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）が継続しています。

諏訪之瀬島では、爆発的噴火を含む噴火が時々発生し、噴火活動は活発に経過しました。火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）が継続しています。

その他の火山の活動状況に特段の変化はありません。

10 月 5 日現在の各火山の噴火警報及び噴火予報等の発表状況は表 1 のとおりです。

表 1 10 月 5 日現在の噴火警報及び噴火予報等の発表状況

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	霧島山（新燃岳）、桜島
	レベル 2（火口周辺規制）	三宅島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島
噴火警報及び火山現象に関する海上警報	周辺海域警戒	福德岡ノ場
噴火予報	レベル 1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、浅間山、新潟焼山、焼岳、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、口永良部島
	平常	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、アトサヌプリ、雄阿寒岳、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、婿婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若草、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



図1 噴火警報発表中の火山

【各火山の活動状況及び予報警報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

吾妻山 【噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)】

大穴火口の噴気活動はやや高い状態が続いています。大穴火口では、夜間に明るく見える現象を観測しました。

7日に実施した現地調査では、大穴火口の地表面温度分布で、2011年6月7日にW-6噴気孔の下方に確認された地熱の高い箇所が引き続き確認されました。なお、八幡焼付近の地表面温度分布に特段の変化は認められませんでした。

10月4日(期間外)21時45分頃に火山性微動(継続時間11分程度)が発生しました。火山性微動の発生前後で、噴気の状態、夜間に大穴火口が明るく見える現象及び地震活動に特段の変化は認められませんでした。吾妻山で火山性微動が観測されたのは、2010年8月1日以来です。火山性地震は、少ない状況で経過しました。

7日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は一日あたり100トンで、前回(2011年7月6日)の50トンと比べて増加し、火山ガス放出が続いています。

地殻変動に特段の変化はなく、ただちに火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、引き続き、火口内では火山ガスの噴出がみられますので警戒が必要です。

日光白根山 【噴火予報(平常)】

3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」以降、日光白根山の西側及び北西側へ約5km付近、東側から南東側へ約5～10km付近での地震活動が活発な状況となっていました。その後、地震活動は低下してきています。今期間、日光白根山の北西側へ約5km付近の地震活動領域において、群馬県沼田市などで震度1を観測する地震が1回発生しました。火山性微動は観測されませんでした。

直接噴火活動に関連するような変化は認められておらず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

焼岳 【噴火予報(噴火警戒レベル 1、平常)】

3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」以降、山頂直下～北西麓の浅い所での地震活動が活発化しましたが、その後、地震活動は低下してきています。火山性微動や低周波地震は観測されませんでした。

直接噴火活動に関連するような変化は認められておらず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

富士山 【噴火予報(噴火警戒レベル 1、平常)】

3月15日22時31分に発生した静岡県東部(富士山の南部付近)の地震(マグニチュード6.4)以降、その震源から山頂直下付近にかけて地震が増加しました。その後、地震活動は低下してきています。深さ15km付近を震源とする深部低周波地震は少ない状況でした。火山性微動や浅部の低周波地震は観測されませんでした。

その他の観測データでも浅部の異常を示すものではありません。火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

伊豆東部火山群 【噴火予報(噴火警戒レベル 1、平常)】

18日夜から伊東市新井から伊東市汐吹崎沖付近を震源とする微小な地震が増加し、23日にかけて地震活動が活発化しました。震度1以上となる地震はなく、地震活動は24日以降低下し、活動以前の状態に戻ってきています。なお、22日未明には、伊東市宇佐美付近のやや浅い場所を震源とする地震が一時的に増加しましたが、この地震活動は地下深くのマグマの活動と直接関係はないと考えられます。

地震活動に先行して、18日午後から東伊豆町に設置している東伊豆奈良本体積ひずみ計で縮みの変化が認められ、伊東市に設置している猪山傾斜計でも変化が始まりましたが、地震活動の低下とともにその変化も鈍化し、23日以降は特段の変化は認められません。GPS連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

噴火に結びつくような低周波地震及び火山性微動は観測されておらず、ただちに噴火する兆候は認められません。

三宅島 【火口周辺警報(噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)】

山頂火口からの噴煙高度は、火口縁上100～600mで経過しました。

28日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の平均放出量は一日あたり900トン(前月8月11日及び17日、それぞれ1,000トン及び800トン)で、やや多量の火山ガス放出が続いています。三宅村によると、山麓では時々高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

火山性地震は少ない状態が続いています。震源は山頂火口直下に分布しており、これまでと比べて特に変化はありませんでした。

23日頃から、振幅が20分間程度の間隔で間欠的に増大する連続微動が発生し、10月5日12時(期間外)現在、振幅が減衰しながらも継続していますが、その他の観測データに特段の変化はみられません。

全磁力連続観測では、火山体内部の熱の状況に大きな変化は見られませんでした。

GPS連続観測によると、2000年以降、山体浅部の収縮を示す地殻変動が継続しています。

火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、山頂火口周辺(雄山環状線内側)では噴火に対する警戒が必要です。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では火山ガスに対する警戒が必要です。

硫黄島 【火口周辺警報(火口周辺危険)】

地震活動は今年(2011年)2月末頃から高い状態が続いています。

国土地理院の観測によると、2006年8月に始まった島全体の隆起を示す地殻変動は、2010年11月中旬頃から12月にかけて一時鈍化しましたが、2011年1月末頃から隆起速度が増加し、現在も続いています。また、島の南部で大きな南向きの変動がみられます。元山の南東側では、8月26日頃から9月2日頃にかけて局所的な西向きの変動がみられました。

火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、これまで小規模な噴火が発生した島東部の海岸付近、島西部(井戸ヶ浜等)及び南東沖(翁浜沖)では噴火に対する警戒が必要です。

福岡ノ場 【噴火警報(周辺海域警戒) 及び火山現象に関する海上警報】

海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に対する警戒が必要です。

霧島山（新燃岳）【火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)】

新燃岳では、8月31日02時43分(期間外)に発生した小規模な噴火は6日13時50分まで継続しました。7日06時00分に確認したごく小規模な噴火は、灰白色の噴煙が火口縁上300mまで上がり北東へ流れ、同日18時30分頃まで継続しました。爆発的噴火の発生はありませんでした。

いずれの噴火でも大きな噴石の飛散や火砕流の発生は確認されませんでした。

これらの噴火以外は、白色の噴煙が火口縁上概ね200m以下(最高高度は500m)で経過しました。

13日と22日に航空自衛隊航空救難団新田原救難隊の協力を得て、実施した上空からの調査では、新燃岳火口内に蓄積された直径600m程度の溶岩の大きさに特段の変化はありませんでした。白色の噴煙が溶岩縁辺から上がっているのを確認しました。

また、22日の調査では、5月13日の調査と比較して、火口内に蓄積された溶岩の縁辺部から中央部にかけてわずかに低くなっているのを確認しました。

赤外熱映像装置による観測では、火口内に蓄積された溶岩の中央部の表面温度は低い状態となっていました。溶岩縁辺が比較的高温な状態でした。

火山性地震は、上旬は多い状態でしたが中旬以降やや減少しました。月回数は1,913回(8月:3,997回)でした。

震源はこれまでと同様に、主に新燃岳付近の海拔下0～2kmに分布しました。

8月31日02時41分(期間外)に振幅のやや大きな火山性微動が発生し、その後、振幅が小さくなり9月4日19時20分まで継続しました。このほか振幅の小さな火山性微動が時々発生しました。火山性微動の継続時間の月合計は125時間35分(8月:26時間42分)で、前期間と比べて増加しました。

国土地理院のGPSによる地殻変動観測では、新燃岳の北西数kmの地下深くのマグマだまりへのマグマの供給を示す変化が続いています。傾斜計では、7日00時35分に発生した振幅のごく小さな微動に伴い新燃岳側のわずかな沈降を示す変化が認められました。

噴火継続中の1日、2日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の平均放出量は一日あたり2,000トン～2,200トンと多い状況でした。29日に実施した現地調査では、300トンと少ない状態でした。

新燃岳火口から概ね3kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石(火山れき)に注意が必要です。これまでの噴火では、風に流されて直径4cm程度の小さな噴石(火山れき)が新燃岳火口から10kmを超えて降りました。また、爆発的噴火に伴う大きな空振に注意が必要です。噴火警報等及び霧島山上空の風情報に注意してください。降雨時には泥流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報に注意してください。

桜島 【火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)】

昭和火口では、爆発的噴火を含む噴火が204回(8月:142回)と活発な噴火活動が継続しました。そのうち爆発的噴火の回数は141回(8月:86回)でした。これらは、昭和火口の活動が2006年に再開以降最も多い回数です。これらの噴火に伴い、最も遠くまで飛散した大きな噴石は4合目(昭和火口から800m～1,300m)まで達しました。噴煙の最高高度は、火口縁上2,000mでした。また、ごく小規模な火砕流が、1日と12日に東へ約200m流下しました。

同火口では、夜間に高感度カメラで明瞭に見える火映を時々観測しました。

南岳山頂火口では、噴火は発生しませんでした。

火山性地震は、一日当たり10～45回と少ない状態で経過しました。月回数は790回(8月:498回)でした。

5、14、27、28日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の平均放出量は一日あたり600～2,700トン(8月:1,800～1,900トン)とやや多い状態でした。

有村観測坑道の水管傾斜計(大隅河川国道事務所設置)では、特段の変化は認められませんでした。

GPSによる地殻変動観測では、2011年初め頃から島内の観測点間の距離がわずかに短くなる変化が見られます。これは島内がわずかに収縮していることを示しています。また、国土地理院のGPSによる地殻変動観測では、始良(あい)カルデラ(鹿児島湾奥部)深部の膨張による長期的な伸びの傾向がみられますが、一部の観測データではこの夏頃から伸びが鈍化しています。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。降雨時には土石流に注意が必要です。

薩摩硫黄島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや高い状態が続いています。白色の噴煙が、最高で火口縁上 500m まで上がりました。

火山性地震は、月回数は 119 回（8 月：244 回）で、少ない状態で経過しました。火山性微動は観測されませんでした（8 月：なし）。

火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では噴火に対する警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石に注意が必要です。

諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

御岳火口では、9 日と 12 日に爆発的噴火が発生するなど、8 日、9 日、11 日、12 日に小規模な噴火が発生しました（8 月：噴火なし）。12 日の噴火では、灰白色の噴煙が火口縁上 1,300m まで上がり、西に流れました。十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、8 日、9 日、11 日、12 日に集落（御岳の南南西約 4 km）で降灰が確認されました。

同火口では夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映を時々観測しました。

火山性地震は、9 日から 14 日にかけてやや増加しましたが、その後は減少し、少ない状態で経過しています。火山性微動は、主に 9 日から 14 日にかけて断続的に発生し、継続時間の月合計は 64 時間 00 分と、前期間（8 月：15 時間 23 分）に比べて増加しました。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石に注意が必要です。

（火山の順は活火山総覧（第3版）による）

資料１ 全国の火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ（平成 23 年 10 月 5 日現在）

（１）主な活火山

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2008年 9 月29 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17 日 噴火予報（平常） 2008年11月17 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009年 4 月10 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	大雪山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2008年12月16 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2008年 6 月 9 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	恵山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	秋田焼山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年10月27 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	鳥海山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	蔵王山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	吾妻山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	安達太良山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
関東・中部地方	磐梯山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	那須岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	日光白根山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	草津白根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2009年 4 月10 日 噴火予報（レベル 1、平常）切替
	浅間山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2008年 8 月 8 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009年 2 月 1 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009年 2 月 3 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2009年 4 月 7 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2010年 4 月15 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	新潟焼山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2011年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	焼岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2011年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	乗鞍岳	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	御嶽山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2008年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	白山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	富士山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2011年 3 月31 日 噴火予報（レベル 1、平常）

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（レベル１、平常）
	新島	噴火予報（平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常）
	神津島	噴火予報（平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常）
	三宅島	火口周辺警報 （レベル２、火口周辺規制）	2007年12月１日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年３月31日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常）
	青ヶ島	噴火予報（平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月１日 火口周辺警報（火口周辺危険）
	福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月１日 噴火警報（周辺海域警戒）
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常）
	九重山	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（レベル１、平常）
	阿蘇山	火口周辺警報 （レベル２、火口周辺規制）	2007年12月１日 噴火予報（レベル１、平常） 2011年５月16日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2011年６月20日 噴火予報（レベル１、平常）
	雲仙岳	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（レベル１、平常）
	霧島山 （新燃岳）	火口周辺警報 （レベル３、入山規制）	2007年12月１日 噴火予報（レベル１、平常） 2008年８月22日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル１、平常） 2010年３月30日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2010年４月16日 噴火予報（レベル１、平常） 2010年５月６日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2011年１月26日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2011年１月31日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2011年２月１日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2011年３月22日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（レベル１、平常）
	桜島	火口周辺警報 （レベル３、入山規制）	2007年12月１日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年２月３日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年２月20日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年４月８日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年７月14日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年７月28日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年８月28日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年２月２日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年２月19日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年３月２日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年３月10日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2009年４月24日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年７月19日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2010年９月30日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2010年10月13日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 （レベル２、火口周辺規制）	2007年12月１日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）
	口永良部島	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年１月25日 噴火予報（レベル１、平常） 2008年９月４日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年３月18日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年８月４日 噴火予報（レベル１、平常） 2009年９月27日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル１、平常）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 （レベル２、火口周辺規制）	2007年12月１日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）

注）噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成 19 年 12 月 1 日の噴火警報及び噴火予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。
この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

(2) その他の活火山

以下の活火山では平成 19 年(2007 年)12 月 1 日に噴火予報(平常)を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカシダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

* 天頂山と雄阿寒岳は、平成 23 年 6 月 7 日に活火山として選定され、噴火予報(平常)を発表した。